

# シゲルくん通信

## NEO

建物超寿命化支援企業の  
株式会社シゲル・コーポレーションが  
毎月発行する瓦版です

★当社が協賛するBSNラジオ番組『石塚かおりのBrand new day』内にて  
内容リフレッシュして、引き続き当社ラジオCMオンエア中!(毎週火曜日7:15~8:54内)

★BSN TV朝の情報・報道番組『THE TIME』内にて  
当社お天気フィラーTVCM放映中!(毎週月曜日6時30分頃)

毎月掲載しておりました  
ことだま千絵子さんの  
「ことだま」作品は、当社  
ホームページにお引越し  
しました。  
新着情報で作品を掲載中♪



ここ最近愛読中!『チコちゃんの素朴な疑問365』

### 【建物超寿命化支援企業】

株式会社シゲル・コーポレーション社長の増村文武です。

あっという間に2月も終わり、早春を感じさせる3月を迎える時期となりました。当社は3月20日に年次決算を迎え、新年度にあたる2024年度は節目となる第60期目の企業活動がスタート致します。

2月は各部門において、節目となる新年度に向けての年間計画会議を実施いたしました。各部門長主導にて部門の年間目標・実施策の確認を行い、合わせて各社員より当社内における『社員No.1宣言』をしていただきました。一人一人の強みは違っていてもぜんぜんOK、各々の個性を最大限に伸ばした上で力を集結し、新年度もお客様への業務サービス、防水業界No.1を目指します。

以前から本紙にてご紹介をしている、建物改修に役立つ情報満載の、お客様の事業所に出向いての出張セミナーも随時受け付けております。

また半年先の夏に向けて、暑さ対策・CO2対策を主眼とした遮熱・外断熱複合の防水改修工事のご提案もさせていただいております。ぜひ、お気軽にお声掛けください。

### 今月のトピックス

- I.各部門年間計画会議を実施
- II.シーカ・ジャパン(株)様 研修
- III. 2024年 幹部による 新年の抱負

## I.各部門年間計画会議を実施

2024年度に向けて、各部門の年間計画会議を実施致しました。

- 2月3日(土) 営業部 年間計画会議を実施
- 2月15日(木) 総務部 年間計画会議を実施
- 2月16日(金) 工事部・安全管理部 年間計画会議を実施

各部門長より 次年度 部門 基本目標・計画について発表及び、各社員個人目標・計画の発表を致しました。



工事部・安全管理部 年間計画会議の様子



営業部 年間計画会議の様子

## II.シーカ・ジャパン株式会社 様 工事部・安全管理部研修



シーカ・ジャパン株式会社  
堀 様

工事部・安全管理部年間計画会議内では、新年度に向けて当社工事情質の更なる向上を主眼に、シーカ・ジャパン株式会社堀様より、「ウレタン塗膜防水の不具合事例と対策・予防」についての研修も合せて行っていただきました。

## III.2024年 幹部による 新年の抱負



お待たせ  
しました!

今年の抱負は「何事にも楽しむことを忘れない」です。昨年と同じにさせていただきました。本年はじめて大病を患いまして長期のお休みをいただきました。原因はたくさんありますがストレスが良くないことを痛感いたしました。日々仕事などで忙しく過ごす、余裕がなく疲れがち、気持ちを楽にして、気負わず過ごすように心がける。これは大事ですね。この一年はそう心がけて過ごしたいと思いこの抱負にしました。本年も宜しくお願い致します。

執行役員 営業統括部長 横野 和元

# 荻昌弘さんを愛してやまない 俺ちゃんのシネマコラム

★今月の増村イラスト(料理編)★

『ラムチョップ  
&  
イタリアワイン』

連載第70回 今月のテーマ  
『千里眼』

自称、シゲル・コーポレーション内で一番の映画好き、増村文武です。



2月よりネット配信された大沢たかお主演『沈黙の艦隊 シーズン1 東京湾大海戦』予想以上に良いですね～ 先行して公開された劇場版に足を運ばず残念がっていたタイミングでドラマ化の話聞き、配信開始を待っていましたが、各出演陣の演技力と怒涛の展開に、思わず一気観をしてしまいました。かわぐちかいじ原作のコミック版は、学生当時とてもはまっていただけに、時代を経ての実写版には感慨深いものがあります。むしろ四半世紀を過ぎた現在のほうが、よりしっくりきてしまうとも重いテーマを扱った作品ですが、潜水艦映画に外れなしと以前の当コラム内でもご紹介した通り、政治的なテーマを背負った中での文字通り押し潰されんばかりの緊迫感、戦術の詳細な描写には度肝を抜かれます。

さて連載第70回目のテーマはずばり『千里眼』  
離れた土地の出来事や未来の事、また人の心の中を知りうる能力とさされている千里眼。今月はそんな能力を望まずとも持ってしまった主人公達の苦悩を描いた3本をご紹介。



★毎月掲載している挿絵はこちらからもどうぞ。

## No.205『マダム・ウェブ (2024年 アメリカ映画)』

マーベル・コミックスの同名キャラを題材とした作品としては最新公開作であり、映画館で鑑賞してきたばかりの1本。1970年代、アマゾンのジャングルで、臨月の身でありながら、人に投与すると人体機能を増強させる毒を持つ幻の蜘蛛を追い求めていた、学者である主人公キャシー・ウェブの母 蜘蛛を見つけるも仲間であるエゼキエルの裏切りに合い瀕死の状態に。しかし現地の部族にて蜘蛛の特殊な毒を体に注入され、身ごもったキャシーを産したのちに息を引き取ります。30年後、ニューヨークの救命隊に所属するキャシーは、ある事故をきっかけに千里眼ともよべる予知能力を覚醒。蜘蛛の毒により超人的なパワーを得たエゼキエルがある理由で抹殺を企む3人の女子学生を、偶然居合わせた電車から助けることで、運命的な戦いに巻き込まれていくことになりますが… 近年のヒーロー・テンコ盛りのマーベル映画に食傷気味になっていた私には逆に嬉しい一本。サスペンスフルでちょっとシリアス、ド派手過ぎず現実味のあるちょうどよいアクション・スリラーな1本に仕上がってます。スパイダーマンのスピノフ的な作品ですが、今後の続編にも期待。

## No.206『NEXT -ネクスト- (2007年 アメリカ映画)』

ニコラス・ケイジ全盛期の1本ですね～ ケイジ演じる主人公クリスは、キャデラックの芸名でラスベガスのカジノで予知能力を売りにしたマジシャンをしていましたが、彼は自身が授かった能力をマジックに見せかけ、その能力を隠すように暮らしていました。しかしこの能力が本物であることを見破ったFBIは、ロシアから米国内に持ち込まれた核兵器とテロリストの追跡のために彼の能力を利用しようと、彼の身柄の確保に乗り出します。彼の能力は、上段で紹介のマダム・ウェブの能力に似てますが、肝なのは2分先の未来までしかわからないというところ。そしてなぜか、本作のヒロインであるリズについては以前からクリスは同じ幻影に出会い、いつしか出会うことを予見していたのでした。リズとついに対面を果たしたクリスは、彼女との逃避行を続ける中で彼女に深い愛情を抱き、しかしながら結果として彼女に最大の命の危機をもたらしてしまうのですが… ニコラス・ケイジ × 2分間といえば、ケイジ × 1分間の組合せも忘れられません。1分以内に高級車を盗み出すクライム・アクション『60セカンズ』も、いつかまたあらためてご紹介をしたいお薦めの1本。

## No.207『デッドゾーン (1983年 アメリカ映画)』

スティーヴン・キング原作の小説を、奇オデヴィッド・クロウネンバーグ監督が映画化した、千里眼を扱った往年の名作。上記2作品と比較すると作風の趣ががらりと変わり、まさにクロウネンバーグらしいダークサスペンスな1本。学校の教師として真面目に働き、恋人との良好な関係を楽しんでいたごく普通の青年ジョニーを襲った突然の自動車事故。5年間という長い昏睡状態から奇跡的に回復したジョニーは、なぜか人に触れるとその人の未来の悲劇が予見できる特殊な能力を開花させます。病院の看護師の子供にふりかかる事故を伝えて未然に悲劇を防いだジョニー。殺人事件の解決にも貢献しますが、時には周囲から忌み嫌われるような言葉をなげかけられることも。そしてある時、事故が起きる前の恋人が応援活動を進める横柄な上院議員候補スティルソンと偶然に握手をしたことにより、スティルソンがやがて大統領となり核兵器のボタンを押す悲劇のイメージを見てしまうのでした… 終始、雪が路上に残るようなどこか寂し気な情景とジョニーを演じるクリストファー・ウォーケンの青白い顔の佇まいが、本作をより暗く悲劇的なイメージへと繋げていきます。ジョニーが純真であるが上に選んだ最後の選択は、刹那さと彼の心の優しさに満ちた余韻が残ります。

もし御興味が湧いてきましたら、皆様もぜひ一度御鑑賞を (^\_^)-☆

